

第三学期終業式式辞

令和7年3月19日

令和6年度の学校の開校日は、今日をもって終わります。3月1日、3年生を送り出し、もう終業式がやってきたのかと、時の流れを強く感じます。皆さんの後輩となる新入生を迎える新年度がもうすぐそこまで来て、皆さんを待っています。

二日前の3月17日には、私は、吉田中学校の卒業式に出席しました。4月には高校生になる人たちです。本校に入学する生徒もいます。式の最後に卒業生による合唱があり、レミオロメンの「3月9日」という歌を合唱していました。その歌詞には、

3月の風に思いをのせて
桜のつぼみは春へとつづきます
新たな世界の入口に立ち
気づいたことは 1人じゃないってこと

などと歌っていました。卒業前後、若い人たちの思いを感じさせる、いい曲でした。因みに、去年は、RADWINPSの「正解」だったそうで、アーティストに失礼ではありますが、その歌詞を一部省略しながら少し紹介します。

答えがある問いばかりを教わってきたよ
僕だけの正解をいざ探しに行くんだ
制限時間は これからの人生
解答用紙は これからの人生
採点基準は これからの人生

この歌は、卒業式に歌うのに素晴らしい歌だと、私は感じました。

本校の卒業式では、合唱はありませんでしたが、卒業生が答辞を読む際、槇先生がピアノで、あいみょんの「さよならの今日に」の演奏がありました。私は、卒業生の答辞を聴きながら、その歌詞を口ずさんでいました。省略して少し紹介すると、

切り捨てた何かで今があるなら
「もう一度」だなんて
そんな我儘 言わないでおくけどな
不滅のロックスター
永遠のキングは
明日をどう乗り越えたかな

この歌も、失敗や後悔、やり直しがきかないこと、それでも前に向こうとする感じが強く出ていて、私が好きな曲の一つです。

二年生も一年生も、いつかは卒業を迎えます。入学した時に描いていた未来に、皆さんは今立っていますか。夢や希望がどんどん近づいてきて成長できた人、その逆で自分が思いもしなかった方向に進み、成長とは真逆の結果になってしまった人。いろんな思いの歌があるように、現在ここにいる皆さんにもいろいろな思いがあるでしょう。年度の変わり目を一つの区切りとして、今日から新たなスタートを切ってください。過去はやり直せませんが、未来は、誰にでも平等に開けています。夢や希望の実現のチャンスは、皆さんそれぞれに平等に与えられています。

チャンスを自ら捨てることなく、今、これからの皆さんの前進に期待しています。頑張ってください。私は皆さんの応援者です。より一層の充実した高校生活を願って、私からの式辞とします。